

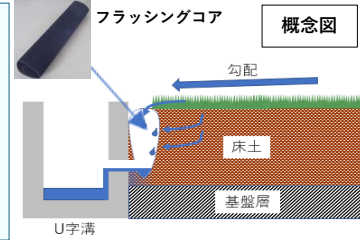


第24回四国産業技術大賞優秀技術功績賞／芝生施設、人工芝、土のグラウンド、インターロッキング等の排水改善システムの開発（フラッシングコア・副側溝工法）

- 受賞企業名：株式会社フィールディックス
- 所在地：高知県高知市神田1503-9
- 電話番号：088-856-6251
- URL：<http://fieldex.co.jp>
- 経営理念：スポーツ・レクリエーション施設の維持管理を通じて健康な社会の発展に貢献する。

受賞技術成果の概要

従来、芝生施設では、自然地下排水や暗渠透水管の埋設等の排水方法がとられていたが、経年使用により透水管の目詰まりによる排水不良や根腐れが発生しやすく、多額の改修費用を要するケースがありました。受賞技術は、こうした問題に対し、芝生施設に副側溝としてろ過排水構造（フラッシングコア）を設置することで芝生施設での排水改善を行い芝生の生育不良問題を解決しました。



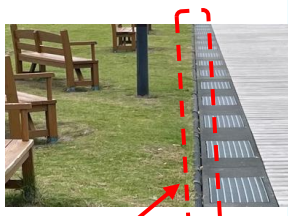
四国産業技術大賞受賞技術成果

ユーザー事業者

- 事業者名：八幡浜市役所
- 導入場所：愛媛県八幡浜市沖新田1581-23（道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」内の沖新田緑地公園）
- 地域概要：九州を結ぶ海上航路の四国の西の玄関口として年間約60万人の利用客で賑わう八幡浜港がある市。人口約2.9万人で、主要産業は柑橘農業、水産業、水産関連食品製造業、造船業など。道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」は年間約100万人が訪れる愛媛県内有数の観光スポット。
- URL：<https://www.city.yawatahama.ehime.jp/>



道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」内の沖新田緑地公園



フラッシングコア敷設の様子

●ユーザー事業者の声

- Q. 道の駅・みなとオアシス「八幡浜みなと」内の沖新田緑地公園の芝生広場に「フラッシングコア・副側溝工法」が使用された経緯を教えてください？
- ➔ 沖新田緑地公園は、八幡浜市民を始め多くの観光客にも親しまれる八幡浜市の顔とも言える公園です。その公園の芝生が、植え付けて数年もしない間に生育不良の芝生が目立つようになり、芝生表面に苔が繁殖してベチョベチョな状態になって困っていた際、「フラッシングコア・副側溝工法」を知り、数mの小規模な実証試験を経て、これなら大丈夫と確信できたので4,400㎡の芝生周囲の施工に踏み切りました。
- Q. 「フラッシングコア・副側溝工法」の採用の決め手は何ですか？
- ➔ 芝生が生育不良になった原因が当初分からなかったのですが、排水不良による根腐れだったことが判明したので、排水性の向上と維持管理費が抑えられメンテナンスが容易なことから「フラッシングコア・副側溝工法」を採用しました。
- Q. 「フラッシングコア・副側溝工法」を使って芝生広場を整備されましたが、効果は感じますか？
- ➔ 施工して約10年になりますが、生育不良もなく、夏には青々とした芝生が広がっています。市では毎年、大勢の方で賑わうイベントを数多く芝生広場で開催していますが、来場された方には楽しんで頂けていると思います。
- Q. 「フラッシングコア・副側溝工法」で整備された芝生広場ですが、維持していく上で留意することはありますか？
- ➔ 年1回は芝生の育成促進のためのターフリフレッシュャーによる溝切り作業やフラッシングコア内に溜まった土砂の掃除を実施しています。その他、通常の植物と同様に散水、施肥、除草などを定期的に行っています。重量のある車両の芝生内乗り入れは特に注意が必要です。
- Q. 今回の「フラッシングコア・副側溝工法」ですが、どのような現場にお勧めできますか？
- ➔ 「フラッシングコア・副側溝工法」を導入して良かったと満足しているので、芝生のグラウンドや公園をこれから整備しようとする現場や排水不良で芝生の生育に困っている現場には自信を持ってお勧めできます。